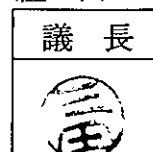


経 由



政務活動費収支報告書

平成31年 4月 23日

伊豆市長 菊地 豊 様

会 派 名 無所属
代表者氏名 鈴木 正人



伊豆市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第6条第1項の規定に基づき、平成30年度分の政務活動費に係る収支状況を次のとおり報告します。

- | | |
|-----------|---------------------------------------|
| 1 交 付 額 | 180,000 / 円 |
| 2 支 出 額 | 52,412 / 円 |
| 3 収支差引額 | 127,588 / 円 |
| 4 経理責任者氏名 | 鈴木 正人 |
| 5 経費の支出明細 | 平成30年度分政務活動費収支決算書 (別添) のとおり |
| 6 事業の成果 | 議会活動に必要な知識の習得ができた。
*別添 調査研究等報告書 参照 |



別添（様式第8号関係）

平成30年度分政務活動費収支決算書

収入

区 分	金 額
交 付 額	180,000 円





支出

区 分	金 額
1 調査研究費	円
2 研修費	48,212 円
3 資料作成費	円
4 資料購入費	円
5 要請・陳情活動費	4,200 円
6 会議費	円
7 広報費	円
8 広聴費	円
9 事務費	円
10 人件費	円
計	52,412 円

様式第9号 (第6条関係)

支 払 伝 票

平成30年 5月 1日

会 派 名	鈴木 正人	代表者印		経理責任者印	
支 出 金 額	¥15,600-				
支 出 科 目	摘 要				
1	調 査 研 究 費	研修参加費、			
2	研 修 費	・研修名称			
3	資 料 作 成 費	「平成30年度市町村議会議員研修[5日間コース]」			
4	資 料 購 入 費	～新人議員のための地方自治の基本～			
5	要請・陳情活動費	・開催地：全国市町村国際文化研修所（滋賀県大津市）			
6	会 議 費	・開催日：平成30年5月14日(月)～平成30年5月18日(金)			
7	広 報 費	・主 催：全国市町村国際文化研修所			
8	広 聴 費	*研修参加費の内訳			
9	事 務 費	①研修費： 6,000円 (@1,200円×5日間)			
10	人 件 費	②食 費： 7,350円			
		③研修生活動費：2,250円			
		計 15,600円			
支 出 先	(公財) 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所				
支 出 年 月 日	平成30年 5月 1日				
支 払 番 号	1	出納簿記入印		出金確認	
特 記 事 項	*支払番号「2」と振込証明書は同一				

領収書は裏面添付

ご利用明細票

毎度ご利用いただきありがとうございます。

CASH SERVICE  三島信用金庫

日付 取扱金庫店番 通番

30年05月01日1506007ス-0543

金融機関番号 □ 座番号

お取引金額 万円 1 千円 2 500円 100円 50円

お取引内容 振込 0 10円 5円 1円2

手数料 ￥432 通帳頁 お取引金額

時刻 14:37 ￥15,600*

説明コード お取引後残高

お受取人 滋賀銀行
唐崎支店
普通 0000461158





人 サイ)セ"ンコクシチヨウソケンシヨウサ"
イタ"ン 様 おりり ￥970*
イヌ"シキ"カイ スス"キマサト様

0558-87-0159



支 払 伝 票

平成30年 5月 1日

会 派 名	鈴木 正人	代表者印		経理責任者印	
支 出 金 額	¥432-				
支 出 科 目	摘 要				
1	調 査 研 究 費	研修参加費振込手数料			
2	研 修 費	<ul style="list-style-type: none"> ・研修名称 「平成30年度市町村議会議員研修[5日間コース]」 ～新人議員のための地方自治の基本～ ・開催地：全国市町村国際文化研修所（滋賀県大津市） ・開催日：平成30年5月14日(月)～平成30年5月18日(金) ・主 催：全国市町村国際文化研修所 			
3	資 料 作 成 費				
4	資 料 購 入 費				
5	要 請 ・ 陳 情 活 動 費				
6	会 議 費				
7	広 報 費				
8	広 聴 費				
9	事 務 費				
10	人 件 費				
支 出 先	三島信用金庫 修善寺支店				
支 出 年 月 日	平成30年 5月 1日				
支 払 番 号	2	出納簿記入印		出金確認	
特 記 事 項	<p>*支払番号「1」と振込証明書は同一</p>				

領収書は裏面添付

10

11

C

O

ご利用明細票

毎度ご利用いただきありがとうございます。

CASH SERVICE

三島信用金庫

日付 取扱金庫店番 通番

30年05月01日15060077-0543

金融機関番号 □ 座番号

お取引金額	万円	千円	500円	100円	50円
お取引内容	振込	20	100	50	102
手数料	¥432	通帳員	お取引金額	¥15,600*	
時刻	14:37	お取引後残高			

説明コード *****





お受取人
滋賀銀行
唐崎支店
普通 0000461158
サイセイシヨウソウケンシヨウサ
イタン 様 おつり ¥970*
イスキカイススキマサト様
0558-87-0159



92-247

支 払 伝 票

平成30年 5月 14日

会 派 名	鈴木 正人	代表者印		経理責任者印	
支 出 金 額	¥21,160-				
支 出 科 目	摘 要				
1 調 査 研 究 費	研修参加旅費 三島駅～京都駅 (東海道新幹線 往復) ・研修名称 「平成30年度市町村議会議員研修[5日間コース]」 ～新人議員のための地方自治の基本～ ・開催地：全国市町村国際文化研修所 (滋賀県大津市) ・開催日：平成30年5月14日(月)～平成30年5月18日(金) ・主 催：全国市町村国際文化研修所				
2 研 修 費					
3 資 料 作 成 費					
4 資 料 購 入 費					
5 要 請 ・ 陳 情 活 動 費					
6 会 議 費					
7 広 報 費					
8 広 聴 費					
9 事 務 費					
10 人 件 費					
支 出 先	東海旅客鉄道株式会社				
支 出 年 月 日	平成30年 5月 14日				
支 払 番 号	3	出納簿記入印		出金確認	
特 記 事 項					

領収書は裏面添付

駅-No 520102 領収書-No 70
窓口-No 4
領 収 書

様

金額 21,160円
「消費税等込み」

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

30年 5月14日
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済





三島駅

現金出納社員



支 払 伝 票

平成30年 5月 14日

会 派 名	鈴木 正人	代表者印		経理責任者印	
支 出 金 額	¥510-				
支 出 科 目	摘 要				
1 調 査 研 究 費	研修参加旅費				
2 研 修 費	修善寺駅～三島駅				
3 資 料 作 成 費	(伊豆箱根鉄道 往路)				
4 資 料 購 入 費	・研修名称				
5 要 請 ・ 陳 情 活 動 費	「平成30年度市町村議会議員研修[5日間コース]」				
6 会 議 費	～新人議員のための地方自治の基本～				
7 広 報 費	・開催地：全国市町村国際文化研修所 (滋賀県大津市)				
8 広 聴 費	・開催日：平成30年5月14日(月)～平成30年5月18日(金)				
9 事 務 費	・主 催：全国市町村国際文化研修所				
10 人 件 費					
支 出 先	伊豆箱根鉄道株式会社 修善寺駅				
支 出 年 月 日	平成30年 5月 14日				
支 払 番 号	4	出納簿記入印		出金確認	
特 記 事 項					

領収書は裏面添付

領 収 書

金 額 ￥510円

但し 乗車券類代 として





(消費税込み)

30.-5.14
No. 1269

伊豆箱根鉄道株式会社
修善寺駅1発行

支 払 伝 票

平成30年 5月 18日

会 派 名	鈴木 正人	代表者印		経理責任者印	
支 出 金 額	¥510-				
支 出 科 目	摘 要				
1 調 査 研 究 費	研修参加旅費				
2 研 修 費	三島駅～修善寺駅				
3 資 料 作 成 費	(伊豆箱根鉄道 復路)				
4 資 料 購 入 費	・研修名称				
5 要 請 ・ 陳 情 活 動 費	「平成30年度市町村議会議員研修[5日間コース]」				
6 会 議 費	～新人議員のための地方自治の基本～				
7 広 報 費	・開催地：全国市町村国際文化研修所 (滋賀県大津市)				
8 広 聴 費	・開催日：平成30年5月14日(月)～平成30年5月18日(金)				
9 事 務 費	・主 催：全国市町村国際文化研修所				
10 人 件 費					
支 出 先	伊豆箱根鉄道株式会社 三島駅				
支 出 年 月 日	平成30年 5月 18日				
支 払 番 号	5	出納簿記入印		出金確認	
特 記 事 項					

領収書は裏面添付

領 収 書

金 額 ¥510円

但し 乗車券類代 として

(消費税込み)





30.-5.18

No. 1967

伊豆箱根鉄道株式会社

三島駅1発行

調査研究等旅費明細

会 派 名	鈴木 正人			代表者印	
参加者氏名	鈴木 正人			経理責任者印	
				支出科目	之
用 務 先	全国市町村国際文化研修所 (滋賀県大津市)			支払番号	3,4,5
実 施 日	平成30年5月14日～平成30年5月18日			出納簿記入印	
目 的	平成30年度市町村議会議員研修[5日間コース] ～新人議員のための地方自治の基本～				
概 算 額		精 算 額		差 引 額	計算確認印
38,260 円		38,212 円		48 円	
月日	発 着	路 程	路 線	運 賃	宿泊料
5/14	修善寺～京都	369.9 km	伊豆箱根鉄道 東海道新幹線	11,090円	小計(B) 15,600円 (内訳) 研修費 (@1,200) 6,000円 食費 7,350円 研修生活動費 2,250円
	京都～唐崎	14 km	湖西線	240円	
5/18	京都～唐崎	14 km	湖西線	240円	
	京都～修善寺	369.9 km	東海道新幹線 伊豆箱根鉄道	11,090円	
	～				
	～				
			小計(A)	22,660円	
概 算 額			/	(A) + (B)	
精 算 額				38,260円	
				22,180円	16,032円
過不足の理由			宿泊費振込手数料: ¥432 支払い 湖西線往復運賃 ¥480 自費負担		
備 考					

調査研究等報告書





平成30年 5月 20日

実施日時	平成30年 5月14日（月） ～ 5月18日（金）
参加者氏名	鈴木 正人
用務先	全国市町村国際文化研修所（滋賀県大津市）
対応者	全国市町村国際文化研修所
目的・内容	<p>平成30年度市町村議会議員研修【5日間コース】 ～新人議員のための地方自治の基本～</p> <p>【講義①】地方自治制度の基本について 【講義②】地方議会制度と地方議会改革の課題について 【講義③】地方議員と政策法務 【講義④】地方議会と自治体行政 【講義⑤】分権時代の地方議員に期待されていること</p> <p>*講義の他、演習（条例演習・意見交換・発表・全体討議など）</p>
成果・所感	<p>5日間の研修を通じて、地方自治における地方議会の在り方、地方議員の在り方を改めて認識する有意義な研修であった。</p> <p>なかでも最終日に講義にたたれた、宮城県白石市の山田裕一市長の「分権時代の地方議員に期待されていること」と題した話しは非常に興味深いもので印象に残った。</p> <p>山田市長は、3期の白石市議の経験（議会改革や政策提案（白石温麺条例の制定など）を手掛けられた）を経て現在に至られており、その経験から市長の立場となられた今でも、地方自治における地方議会の重要性を事例を通して語られていた。</p> <p>今回の研修から、改めて住民本位の議会、議員の必要性を感じ、伊豆市議会も更に進化、改善していかなければと感じた。</p>

様式第9号 (第6条関係)

支 払 伝 票

平成30年 7月 10日

会 派 名	鈴木 正人	代表者印		経理責任者印	
支 出 金 額	¥2,100-				
支 出 科 目	摘 要				
1	調 査 研 究 費	駿河湾フェリー事業存続要望活動旅費			
2	研 修 費	土肥港～清水港 (駿河湾フェリー乗船料 往路)			
3	資 料 作 成 費				
4	資 料 購 入 費				
5	要 請 ・ 陳 情 活 動 費				
6	会 議 費				
7	広 報 費				
8	広 聴 費				
9	事 務 費				
10	人 件 費				
支 出 先	駿河湾フェリー エスパルスドリームフェリー土肥港				
支 出 年 月 日	平成30年 7月 10日				
支 払 番 号	6	出納簿記入印		出金確認	
特 記 事 項					

領収書は裏面添付

駿河湾フェリー

乗券証

01

エスパルスドリームフェリー
TEL: 0558-98-1217
静岡県伊豆市土肥2920

2018年07月10日

(金額)

鈴木正人 様
但し、フェリー代として

エスパルスドリームフェリー

静岡県伊豆市土肥2920







TEL: 0558-98-1217

18.07.10 100000
大人【清水行き】
*個人1名様のみ有効です。
*本券は当日限り有効です。
割引
11:25 係員が乗船前に切り取ります。 ¥2,100
18.07.10 10000016
大人【清水行き】
11:25 ¥2,100

様式第9号 (第6条関係)

支 払 伝 票

平成30年 7月 10日

会 派 名	鈴木 正人	代表者印		経理責任者印	
支 出 金 額	¥2,100-				
支 出 科 目	摘 要				
1	調 査 研 究 費	駿河湾フェリー事業存続要望活動旅費			
2	研 修 費	清水港～土肥港 (駿河湾フェリー乗船料 復路)			
3	資 料 作 成 費				
4	資 料 購 入 費				
5	要 請 ・ 陳 情 活 動 費				
6	会 議 費				
7	広 報 費				
8	広 聴 費				
9	事 務 費				
10	人 件 費				
支 出 先	駿河湾フェリー エスパルスドリームフェリー清水港				
支 出 年 月 日	平成30年 7月 10日				
支 払 番 号	7	出納簿記入印		出金確認	
特 記 事 項					

領収書は裏面添付

エスパルスドリームフェリー
TEL: 054-353-2221
静岡市清水区日の出町10-80

2018年07月10日16時17分No10000068

(金額) 100



鈴木正人 様
但し、フェリ代として

エスパルスドリームフェリー株式会社
静岡岡崎岡土津
054-353-21

株式会社
エスパルス
フェリー
印

18.07.10
大人【土肥行】
本券は当日限り有効です。
16:16
係員が乗船前に切り取ります。

調査研究等旅費明細

会 派 名	鈴木 正人			代表者印	
参加者氏名	鈴木 正人			経理責任者印	
				支出科目	5
用 務 先	静岡県庁			支払番号	6-7
実 施 日	平成30年7月10日			出納簿記入印	
目 的	駿河湾フェリー事業存続要望活動				
概 算 額		精 算 額		差 引 額	計算確認印
4,200 円		4,200 円		0 円	
月日	発着	路程	路線	運賃	宿泊料
7/10	土肥～清水	30.2 km	駿河湾フェリー	2,100円	
	清水～土肥	30.2 km	駿河湾フェリー	2,100円	
			小計(A)	4,200円	
概 算 額			/	4,200円	
精 算 額				4,200円	0円
過不足の理由					
備 考					






調査研究等報告書

平成30年 7月 10日

実施日時	平成30年 7月10日 (火)
参加者氏名	鈴木 正人
用務先	静岡県庁
対応者	静岡県知事・副知事・県議会議長・副議長
目的・内容	駿河湾フェリー事業存続要望活動
成果・所感	<p>平成30年5月に、2019年(平成31年)3月末の突然の撤退表明をした、駿河湾フェリーの事業存続の要望のため、県庁を訪れた。</p> <p>フェリーの撤退は、伊豆半島の観光を中心とした地域振興のみならず、県民の生活面や防災面に悪影響を与えるとして、伊豆市・下田市・西伊豆町・松崎町・南伊豆町・河津町・東伊豆町の「2市5町」の総勢37名の議員団で、川勝知事、難波副知事に要望書を提出し、川勝知事から存続させることを前提に、県としても早々にプロジェクトチームを立ち上げて力を注いでいくとの返事を頂いた。</p> <p>その後、県議会の渥美議長、落合副議長に面会し、要望書提出の報告と、存続に向けての県議会の協力もお願いした。</p> <p>県と共に、地元の私たちが引き続き、フェリーの利用率の向上を含めて努力していく必要があると感じた。</p>

支 払 伝 票

平成31年 3月 4日

会 派 名	鈴木 正人	代表者印		経理責任者印	
支 出 金 額	¥10,000-				
支 出 科 目	摘 要				
1 調 査 研 究 費	研修会講師料 平成31年2月18日 (月) 会派合同研修会「これからの学校教育のあり方を考える」 講師：自治体問題研究所理事・主任研究員 池上 洋通 氏				
2 研 修 費					
3 資 料 作 成 費					
4 資 料 購 入 費					
5 要 請 ・ 陳 情 活 動 費					
6 会 議 費					
7 広 報 費					
8 広 聴 費					
9 事 務 費					
10 人 件 費					
支 出 先	NPO法人 多摩住民自治研究所				
支 出 年 月 日	平成30年 3月 4日				
支 払 番 号	8	出納簿記入印		出金確認	
特 記 事 項	*支払番号「2」と振込証明書は同 				

領収書は裏面添付

領収証

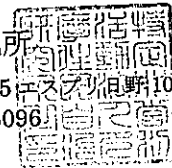
NO.20190304-3

鈴木 正人 様

¥10,000-

但し 「新中学校に基本方針」を受けて、会派合同の勉強会 講師料として
2019年3月4日 上記正に領収いたしました

NPO 法人 多摩住民自治研究所
〒191-0016 東京都日野市神明 3-10-5 日野103
TEL 042-586-7651 FAX 042-514-8096



調査研究等報告書

平成31年 2月 20日

実施日時	平成31年 2月18日（月）
参加者氏名	鈴木 正人
用務先	伊豆市役所 委員会室
対応者	自治体問題研究所理事・主任研究員 池上 洋通 氏
目的・内容	<p>「新中学校の基本方針」を受けての会派合同研修会 講師：池上 洋通 氏 これからの学校教育のあり方を考える 「どの子ども伊豆の子」を基本に</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 伊豆市の地域で人々がめざしてきたこと 2. 子どもの主体性と子どもの権利の思想の発展 3. 子どもを主体者と位置付けるまちづくり 4. 子どもの主体性と学校の規模など 5. 伊豆市と子どもの未来のために
成果・所感	<p>この度、教育委員会は「修善寺・中伊豆・天城湯ヶ島地区の中学校のあり方について」を教育振興審議会に諮問し、同審議会の「3つの中学校を統合すべき」との答申を受けて、「修善寺・中伊豆・天城地区の中学校を統合する」ことを盛り込んだ中学校基本方針をまとめた。</p> <p>議会として、本方針を精査する上で、そもそもの学校教育に求められるものは何なのかを改めて認識を共有することが必要であることから、今回の会派合同研修が実現した。</p> <p>今回の研修で印象に残ったのは、「これまでの地域の成り立ちと子どもたちの関わり」、そして「主権者である子どもたちの主体性の確立」に関してのことであった。このことは、国際法上ならびに日本国憲法、学校教育法でも触れられており、人権を含めた主権者たる子どもたちを育てる環境・仕組みの整備が必要であると感じた。</p> <p>今後の子どもたちを育むうえで、重要な視点をもって、よりよい教育行政のために役立てたい。</p>